●第二中学校校舎の建て替えに関する住民説明会【令和５年５月３０日（火）１８時半～　於：弘前市民体育館）】意見等一覧

	意見・質問	回答
1	空気調和設備を高効率設備とすることについて、どの施設においてもエネルギー消費量や光熱費の削減に配慮した高効率設備を採用しているため、それだけでは差が出てこない。建物を高断熱化することが大事である。 建て替え工事の進め方について、既存校舎を残して新校舎を建てるのか、それとも既存校舎を取り壊した跡地に新校舎を建てて生徒たちは仮設校舎で生活することになるのか、どのような想定をしているか。理想的な配置とするために、設計業者にどのようにして提案を求めるかは重要なことと考える。	高断熱化については、再度検討して、必要に応じて基本構想に追記する。 仮設校舎については、その有無のほか、仮に建てた場合の事業費や工期への影響を抑える手法等も含め、設計業者から広く提案してもらうこととする。
2	学校施設への公共施設の複合化は、国や市の方針なのか。	市の方針として、学校を中心とした地域コミュニティの活性化や公共施設全体の維持管理等コストの縮減を目的に、学校と公共施設との複合化を進めているが、第二中学校への公共施設の複合化にあたっては、地域や学校関係者、施設利用者等の意見を踏まえて決定した。 なお、現在整備を進めている石川小中学校等複合施設においても学校と公民館・出張所・児童館との複合化を行っている。
3	西小学校と城西小学校を第二中学校へ統合するということか。	統合の予定はない。
4	下町地区では水害に対する備えが課題となっている。第二中学校を水害時の一時的な避難所とすることなどの対応方針について、改めて地元に対して説明する機会はあるのか。	第二中学校は、想定浸水深0.5～3.0mの場所で、さらに、岩木川から直線で250mの距離にあり、氾濫から10分程で浸水する可能性がある非常に危険な場所であるため、市が指定する避難所にはできない。ただし、少し離れた指定避難所までの移動手段がない方などもいらっしゃるため、どのような条件であれば第二中学校を一時避難先として使うことができるのか、それが可能かどうかも含め、現在検討している。 指定避難所ではないかたちで一時避難先とする場合は、地域の皆さんのご協力が必要になると考えている。市で対応方針等を検討したうえで、地域の皆さんにご説明し、一緒に話し合いながら検討を進めていく。
5	家庭科室や音楽室などの地域との共用を予定しているとのことだが、利用者はミシンやピアノなど学校の備品を借りることができるのか。	細かい運用面は今後検討していく。
6	スクールバスは学校敷地内に入れるようになるのか。生徒にとって不便のないスクールバスの運用は、藤代中学校が第二中学校と統合した際に市に約束していただいたものなので、実現してもらいたい。	正門の間口を広げるなど、実現に向けた対応を検討していく。